

ハイライト

- 大阪移住フェア、移住相談会共に盛況！
- 今年度の第 1 弾移住ツアー募集がスタート
- 「世話役養成塾」第 2 回は、実際の世話役の方をゲストに招いてお話を伺いました。

目次

- 移住フェア・移住相談会 in 大阪に行ってきました！
…1
- 移住体験ツアー募集開始！第 1 弾は多良間村で観光リピーター向けツアー！
…2
- 世話役養成塾第 2 回を実施しました！
…2

移住フェア・移住相談会 in 大阪に行ってきました！



7月28日(土)に大阪で実施された移住フェア「おいでや！いなな暮らしフェア」に出展して参りました。出展団体は150を超え、会場全体の来場者は2618名とのことです。出展した沖縄県と久米島町のブースには、合わせて33組の来場者が訪問くださいました。当日は、台風12号の接近が予想され、開催時間を1時間短縮するなどの変更もありましたが、悪天候の中多くの来場者にお越し頂くことができました。

翌 29 日(日)の県主催「沖縄移住セミナー&相談会 in 大阪」は大盛況！ 参加市町村の魅力的なセミナーで、個別相談も満席に・・・！



大阪 2 日目は、県主催の移住セミナーと個別相談会を実施しました。今回出展した市町村は、石垣市、宮古島市、東村、久米島町、竹富町の 5 市町村でした。また、初試みとして、「地域おこし協力隊」もブース出展し、県内の協力隊の活動内容の紹介や、今後の募集状況について情報発信を行いました。全体来場者数は、57 組 95 名。会場は多くの沖縄移住に興味のある方たちで一杯になりました！

今後の予定

【移住フェア】

- 9 月 9 日(日)
ふるさと回帰フェア(東京)
- 2019 年 1 月 20 日(日)
JOIN 移住フェア(東京)

【沖縄移住相談会(県主催)】

- 9 月 8 日(土)
- 11 月 10 日(土)
- 2019 年 1 月 19 日(土)予定
(東京)

【地域の世話役養成塾】

- 第 3 回 10 月 19 日(金)
北部・南部合同で実施

【移住体験ツアー】

- 多良間村 観光リピーター向け
ツアー 11 月 2 日～5 日実施

イベント内のセミナー会場では、5市町村がそれぞれ20分の時間を使って、自治体の特徴や、暮らす上での魅力、仕事や住まいについての情報をプレゼンしました。どの市町村も、写真や動画、地図を駆使して、自治体の魅力を大変上手にアピールしており、その後の個別相談にも、プレゼンを聞いて興味を持った多くの来場者が相談ブースを訪れていました。相談では、住まいや仕事についての相談が圧倒的多く、他に特徴的なものでは、就農についての相談が多かったです。9月には東京で移住フェアへの出展と、移住相談会を実施いたします。移住検討者の方、また参加市町村にとって良い出会いの場を提供できるよう、鋭意準備中です！



移住体験ツアー募集開始！第1弾は多良間村で観光リピーター向けツアー！

おきなわ多良間村 島の運動会に参加する「離島生活体験」ツアー

ツアー日程
2018年
11/2(金)～
11/5(月)
3泊4日

限定3組
急げ～

ツアー中の宿泊・プログラム体験費等
無料

応募〆切：9月16日

>>こんな方にオススメ！<<
多良間島は、富良野と石狩島のほぼ中間に浮かぶ丸い小さな島。
富良野から飛行機で約20分。 富良野

- ・ディープな沖縄を体験してみたい人
- ・島の人の交流を楽しみたい人
- ・島の行事に積極的に参加したい人

本年度、県が重点を置く移住施策プログラムのひとつである、移住体験ツアー第1弾の募集がスタートしました。先陣を切るのは、多良間村の、「観光リピーター向け」島の運動会に参加する「離島生活体験」ツアーです。

今年度県が行う移住ツアーは3タイプあり、そのうち「観光リピーター向け」移住ツアーは、実施自治体の移住取組の進捗にかかわらず、移住希望者や地域外の人と交流する機会を設け、受入側の住人と行政、民間組織が連携して受入の経験を積んでもうらうために考えられたものです。また、沖縄移住者の多くが、沖縄ファンの方であり、観光リピーターであることから、リピーターの方に自分の地域のファンになってもらい、いずれは将来の移住者候補になってもらう狙いもあります。

多良間村のツアーでは、11月3日に開催される島の運動会に参加して、集落の方々と競技だけでなく、準備や昼食、片付けから夜の打ち上げ宴会までを体験します。募集開始後1週間で、早くも家族連れや友人同士など多くの方にご応募頂いております。今後は、ツアーの詳細の決定や準備、地域内部の調整などを、村の担当者と運営側で行っていき、本番当日に備える予定です。

世話役養成塾第2回を実施しました！

8月9日(木)那覇市八汐荘にて、第2回地域の世話役養成塾を南部地域・北部地域合同で行いました。第1部では、徳島大学総合科学部 田口太郎准教授に、専門領域である「住民主体のまちづくり」、および「移住者との地域づくり(関係人口論等)」の視点から講義して頂きました。また、ご自身も徳島県佐那河内村の移住者であることから、実体験を元に、移住取組と「世話役」についての意見を語って頂きました。



続いて第2部では、実際に県内で「世話役」的役割を実践されている方として、うるま市与那城宮城区、自治会長の名護徹さんと、隣接地区である桃原区にお住まいの本間優子さんを迎え、より身近な実体験、そして自身の地域や移住に対する考えについてお話ししました。名護さんは、自治会長として地域の維持と将来を考え、責務を意識しながら、地域の子供たちを見守り、また移住者受け入れに前向きな考えをお持ちだとお話しくださいました。そのような思いの背景には、ご自身が家族だけでなく、近所のおじい、おばあに世話になり、まさしく「地域に育てられた」と実感されているからだとのことです。本間さんは、移住者として地域に受入れられる上で、「挨拶」や「行事への積極的な参加」が重要であったとお話しくださいました。現在は、先輩移住者として移住の相談を受けており、その際どのような対応をされているのか、また移住希望者との出会いを楽しみながら、自分ができる範囲で移住のアドバイスを行っているとのことでした。移住者だけでなく、ご自分の住む地域の人と人との関係を円滑につなぐ役割も日ごろからされていること、その際の気遣いやちょっとした「コツ」についてもお話しくださいました。



養成塾の終盤では、先に聞いた「世話役」2名の方の、地域の為、他人の為に世話をやく上での動機や責任についての話を参考に、受講者自身の移住受入における「動機(will)」や「出来ること(can)」、「責任(must)」について、考え、発表してもらうワークショップを行いました。次回第3回では、世話役のタイプの中でも、「職務」として関わる特徴が強い「中間支援組織」・「地域おこし協力隊」の方が、実際どのような形で活動されているかをご紹介します予定です。沖縄県内にも地域おこし協力隊が多く採用され、地域と関わりながら、移住希望者や移住者とも関わる機会も多いと思われます。そのような方が参考に出来るような内容を目指して、現在鋭意準備中です！